ドライブ
ユーザ ガイド

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2008 年 9 月

製品番号：483214-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 取り付けられているドライブの確認

2 ドライブの取り扱い

3 [HP 3D DriveGuard]の使用
[HP 3D DriveGuard]の状態の確認 4
[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用 5

4 ハードドライブ パフォーマンスの向上
ディスク デフラグの使用 6
ディスク クリーンアップの使用 6

5 ハードドライブの交換

6 外付けドライブの使用
別売の外付けマルチベイまたは外付けマルチベイ II の使用 13

索引 14

1 取り付けられているドライブの確認

コンピュータに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択します。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows®には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

2　ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：**　コンピュータやドライブの損傷、またはデータの損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピュータをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

別売の外付けオプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

3 [HP 3D DriveGuard]の使用

[HP 3D DriveGuard]は、以下のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することによって、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作しているときにコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作しているときにディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらの動作の実行後は[HP 3D DriveGuard]によって、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

注記： アップグレード ベイ内にハードドライブがある場合、そのハードドライブは[HP 3D DriveGuard]によって保護されます。オプションのドッキング デバイス内に装着されているハードドライブや USB コネクタで接続されているハードドライブは、[HP 3D DriveGuard]では保護されません。

ソリッド ステートのドライブには回転部品がないため、[HP 3D DriveGuard]による保護は不要です。

詳しくは、[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP 3D DriveGuard]の状態の確認

コンピュータのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ディスク ドライブが停止していることを示します。ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかを確認するには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[モバイル コンピュータ]→[Windows モビリティ センター]**の順に選択します。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

注記： [Windows モビリティ センター]のアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]**の順に選択します。

   注記： ユーザ アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[許可]**をクリックします。

2. **[システム トレイ上のアイコン]**の行で、**[表示]**をクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。

[HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合、コンピュータは以下の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

  注記： [HP 3D DriveGuard]によってドライブが停止された場合でも、コンピュータがバッテリ電源で動作しているときに完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションを開始できるようになります。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリ アラームを有効にできない

コンピュータを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアの使用

[HP 3D DriveGuard]ソフトウェアを使用することで、以下のことが行えます。

- [HP 3D DriveGuard]の有効/無効を設定する。

注記： [HP 3D DriveGuard]を有効または無効にする許可は、特定のユーザの権限に左右されます。Administrator グループのメンバは Administrator 以外のユーザの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [Windows モビリティ センター]でハードドライブ アイコンをクリックして、[HP 3D DriveGuard] ウィンドウを開きます。

   または

   [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

4 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグをいったん開始すると、動作中に操作する必要はありません。ハードドライブのサイズと断片化したファイルの数によっては、完了まで 1 時間以上かかることがあります。そのため、夜間やコンピュータにアクセスする必要のない時間帯に実行することをおすすめします。

少なくとも 1 か月に 1 度、ハードドライブのデフラグを行うことをおすすめします。ディスク デフラグは 1 か月に 1 度実行するように設定できますが、手動でいつでもコンピュータのデフラグを実行できます。

ディスク デフラグを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

5　ハードドライブの交換

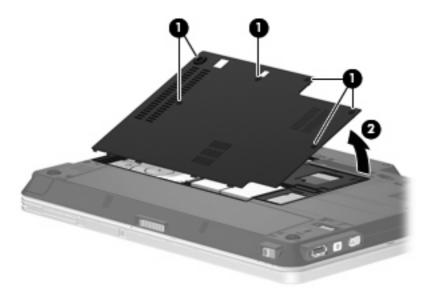
△ **注意：**　情報の損失やシステムの応答停止を防ぐには、以下の操作を行います。

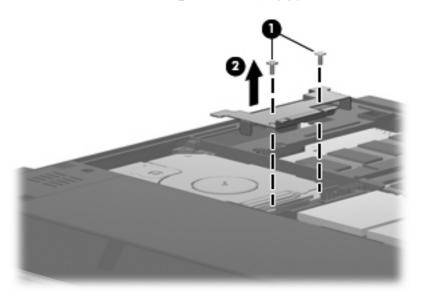
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータをシャットダウンしてください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

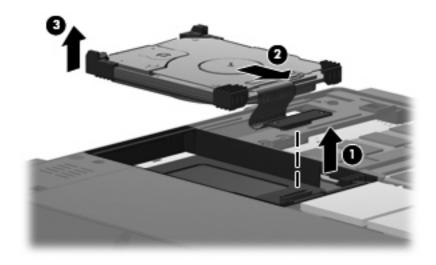
ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

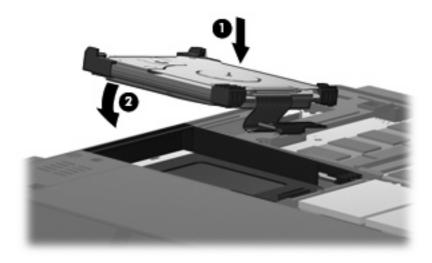
1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されている外付けハードウェア デバイスをすべて取り外します。
4. 電源コンセントおよびコンピュータから電源コードを抜きます。
5. コンピュータのハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリパックを取り外します。
7. ハードドライブ カバーの 6 つのネジ（**1**）を緩めます。

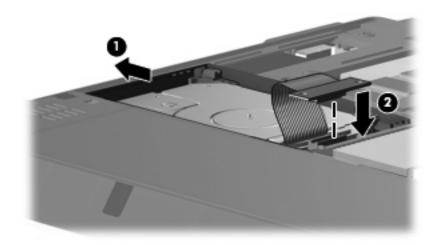
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて、コンピュータから取り外します（**2**）。

9. ハードドライブ ブラケットの 2 つのネジ（**1**）を取り外します。

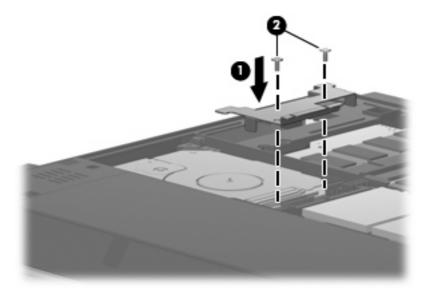
10. ハードドライブ ブラケットを取り外します（**2**）。

11. ハードドライブ ケーブル（**1**）をコンピュータから外します。

12. ハードドライブを、ハードドライブ ケーブル コネクタの方向にスライドさせて（**2**）固定を解除します。

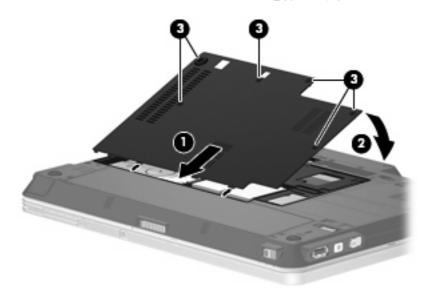
13. ハードドライブを持ち上げて（**3**）ハードドライブ ベイから取り外します。

ハードドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブの表面の位置を合わせて、ハードドライブ ベイに挿入します（**1**）。
2. ハードドライブをハードドライブ ベイにゆっくりと挿入します（**2**）。

3. ハードドライブを、ハードドライブ ケーブル コネクタと反対の方向にスライドさせて（**1**）固定します。

4. ハードドライブ ケーブル（**2**）をコンピュータに接続します。

5. ハードドライブ ブラケットを元の位置に戻します（**1**）。

6. ハードドライブ ブラケットの 2 本のネジ（**2**）を元の場所に取り付けます。

7. ハードドライブカバーのタブを、コンピュータのくぼみに合わせます（**1**）。

8. カバーを閉じます（**2**）。

9. ハードドライブ カバーの 6 つのネジ（**3**）を締めます。

6　外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が拡大されます。USB ドライブを追加するには、コンピュータまたは別売のドッキング デバイスの USB コネクタに接続します。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプタを装着したハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD-ROM/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+RW および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ

注記：　必要なソフトウェアやドライバ、および使用するコンピュータのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

注意：　装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピュータに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを接地した外部電源のコンセントに差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

別電源が必要な外付けドライブを取り外すときは、コンピュータからドライブを取り外した後、ドライブの電源コードを抜きます。

別売の外付けマルチベイまたは外付けマルチベイ II の使用

外付けマルチベイまたはマルチベイ II をコンピュータの USB コネクタに接続して、マルチベイおよびマルチベイ II デバイスを使用できます。コンピュータの右側面に、電源供給機能付き USB コネクタが 1 つあります。このコネクタに電源供給機能付き USB ケーブルを接続すると、外付けマルチベイに電源を供給できます。外付けマルチベイをコンピュータの他の USB コネクタに接続する場合は、マルチベイに外部電源を接続する必要があります。

外付けマルチベイについて詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

索引

C

CD ドライブ　12

D

DVD ドライブ　12

H

HP 3D DriveGuard　3

お

オプティカル ドライブ　12

く

空港のセキュリティ装置　2

そ

外付けドライブ　12

ソフトウェア
- ディスク クリーンアップ　6
- ディスク デフラグ　6

て

ディスク クリーンアップ ソフトウェア　6

ディスク デフラグ ソフトウェア　6

ディスク パフォーマンス　6

と

ドライブ
- オプティカル　12
- 外付け　12
- 取り扱いについて　2
- ハード　7, 9, 12
- フロッピー ディスク　12
- マルチベイ　13
- *も参照*「ハードドライブ」、「オプティカル ドライブ」*も参照*

ドライブ ランプ　4

は

ハードドライブ
- HP 3D DriveGuard　3
- 交換　7
- 外付け　12
- 取り付け　9

ふ

フロッピー ディスク ドライブ　12

ま

マルチベイ　13

め

メンテナンス
- ディスク クリーンアップ　6
- ディスク デフラグ　6

ら

ランプ、ドライブ　4